

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名						
柔道整復実技16						
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名	実務経験		
柔道整復学科・夜間部	3年	3・4期	木下 美聡	○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数
専門分野	柔道整復実技			実技	1	20
科目概要						
上肢疾患に対する対応力を養う実習を行う。特に肩関節、肩鎖関節、肘関節、手指関節の疾患に対し、①鑑別診断の能力を身につける②的確な治療法(整復法、固定法)が選択できるようになる。以上 2点の技術が身につく授業である。						
目標						
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	柔道整復師として、総合的に上肢疾患(肩関節、肘関節、手指関節の疾患)の正しい治療ができるようになるために、様々な検査法を駆使し、高度な臨床的判断能力を身につける。					
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 肩関節、肘関節、手指関節疾患に対する最適な検査ができるようになる。</li> <li>2. 肩関節、肘関節、手指関節疾患に対する的確な視診、触診ができるようになる。</li> <li>3. 肩関節、肘関節、手指関節疾患に対する最適な治療法を選択できるようになる。</li> </ol>					
履修に必要な予備知識や技能						
上肢(筋、靭帯、腱、結合組織)の解剖学、生理学の基本的な知識を確認しておく、実習時に非常に役に立ちますので復習をお願いいたします。						
教科書・参考書						
配布プリントを中心に講義は実施致しますが、参考資料として「柔道整復学・理論編」「柔道整復学・実技編」なども使用します。						
受講上の注意						
指輪、ネックレス、イヤリングなどの実習の際に妨げる可能性がある物は、身に着けないようにしてください。手指の爪は切り、整えて参加してください。						
成績評価方法						
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他 (合計)
		50		50		100
評価割合 (%)	実技試験実施要項					
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物	
第1回	ガイダンス、肩鎖関節の機能と構造、肩鎖関節疾患の治療①			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具	
第2回	肩鎖関節疾患の治療②			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具	
第3回	肩鎖関節疾患の確認テスト			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具	
第4回	肩関節の機能と構造、肩関節疾患の治療①			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具	
第5回	肩関節疾患の治療②			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具	
第6回	肩関節疾患の確認テスト			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具	
第7回	肘関節の機能と構造、肘関節疾患の治療①			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具	
第8回	肘関節疾患の治療②			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具	
第9回	肘関節疾患の確認テスト			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具	
第10回	総合確認			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具	
第11回	小児の肘関節疾患の治療①			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具	
第12回	小児の肘関節疾患の治療②			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具	
第13回	小児の肘関節疾患の確認テスト			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具	
第14回	手指関節の機能と構造、手指関節疾患の治療①			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具	
第15回	手指関節疾患の治療②			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具	
第16回	手指関節疾患の確認テスト			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具	
第17回	総合確認			配布プリント	白衣、サンダル、筆記用具	
第18回	定期試験①				白衣、サンダル、筆記用具	
第19回	定期試験②				白衣、サンダル、筆記用具	
第20回	定期試験解説・復習				白衣、サンダル、筆記用具	
実務経験と本講義との関連について						
約15年間、病院、接骨院にて勤務。その後、約10年間の開業経験。合計25年間で得られた経験をもとに、現場をイメージできる講義を展開する。						
メールアドレス						
kinoshita@nihonisen.ac.jp						